

～ 新作歌舞伎の創作・初披露 ～

中津川成田道行
嘉永年間落合宿物語

公 演：吉例猜流歌舞伎中津川公演

日 程：令和6年11月24日(日)

場 所：東美濃ふれあいセンター 歌舞伎ホール

入場料：1,000 円（中学生以下無料）



詳しい情報は
こちら

江戸後期に活躍した歌舞伎役者七代目市川團十郎（当時海老蔵）が旅興行先から中山道経由で江戸に戻る途中、雲助に狙われ、後を追われます。落合宿に差し掛かった時、上田豊蔵や本陣の助けにより、神坂峠から信州伊那方面へ逃げのび、無事に江戸へ帰着できたことから、その後、團十郎より感謝の意を含め礼状や品物が贈られました。

その史実を題材に、『エンタメ水先案内人』仲野マリ先生が原案、中津川市在住の歌舞伎振付師岩井紫麻が歌舞伎として書き下ろし、振付を担当。役者は、地元の東濃歌舞伎中津川保存会が演じるなど、地元が一丸となり、新作歌舞伎を創作・初披露します。

新作歌舞伎への思い



歌舞伎振付師 岩井紫麻

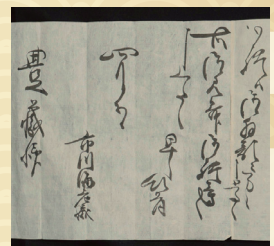
今回の新作歌舞伎は、古典の歌舞伎の手法を用いて、どなたでも親しみやすく感じていただけるよう、分かりやすく面白い内容に仕上げました。雲助に狙われる歌舞伎役者と若き街道役人との友情。女中の淡い恋の行方。忠義と人情味溢れる落合宿年寄役の器の大きさ。雲助統領の極悪振る。など見どころ満載の芝居です。歌舞伎を観た事のないお客様もぜひご覧ください。



東濃歌舞伎中津川保存会
会長 兼山丈晴

仲野マリ先生から物語の原案について、東濃歌舞伎中津川保存会にお話を頂いた時、大変光栄に思いぜひ私たちで新作歌舞伎を上演したいと意欲が湧きました。史実を題材とした物語となりますが、関係する落合宿や地歌舞伎ファンの皆さまに喜んで頂けるよう、私たちは稽古に励み、素晴らしい舞台となるよう思いを一つにして精進して参ります。ご期待ください！

市川團十郎から贈られた品々



團十郎直筆のお礼状



團十郎により刻銘された煙草盆

■主 催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭 2024
実行委員会、東濃歌舞伎中津川保存会、中津川市、「清流の国ぎふ」
文化祭 2024 中津川市実行委員会



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～
2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)

